

令和元年度第1回府中市都市計画マスタープラン改定検討部会 会 議 録

- 1 開催年月日 令和元年8月7日(水) 午後 5時00分開会
午後 6時15分閉会
- 2 出席委員 饗庭 伸
石阪 脩
大久保 秋生
郭 東仁
中井 検裕
升 貴三男
森本 章倫
- 3 欠席委員 なし
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事日程
 - (1) 日程第1 都市計画マスタープランにおけるまちづくり方針(全体構想)の改定について
 - (2) 日程第2 その他
- 6 議 事
 - (1) 日程第1 都市計画マスタープランにおけるまちづくり方針(全体構想)の改定について
 - ア 事務局説明
「都市計画マスタープランにおけるまちづくり方針(全体構想)の改定」について配布資料に基づき説明
 - イ 概要
 - 【部会長】 前回部会の内容と比べて、構成は大きく変わっているが、個々の要素はそれほど変わっていないと考えてよいか。
 - 【事務局】 そのとおりである。
 - 【部会長】 それでは、ご意見はいかがか。
 - 【委員】 資料1の現行の都市計画マスタープランにおける「公益的施設の整備方針」の内容が全く反映されていないようだが、どこに位置付けているか。
 - 【事務局】 前回部会で、「公益的施設の整備方針」については、コスト縮減の視点のみで、市民目線のサービスの提供に関する内容が入っていないという指摘を受けた。そのため、今回案では、第4章の「まちづくりの実施方針」で公共施設マネジメントやインフラマネジメントの考え方を踏まえ、示していきたいと考えている。
 - 【委員】 まず、組立てについては、資料3、1ページの「将来都市像」の中にある文化という視点が、「テーマ別まちづくり方針」から抜け落ちているのが気になる。
次に「基本目標」が5つあるが、その横の「将来都市構造」との

間の矢印は書かない方がよい。「基本目標」と「テーマ別まちづくり方針」がそれぞれ対応しているならば、一本化してしまえばよい。

資料2の「まちづくりの主要課題」が1)から9)までであるが、課題と対策が混ざった書き方となっており、基本目標や「テーマ別まちづくり方針」の表現だと思う。問題列記型で読んだ人が不安になるくらいに書いた方がよい。

細かい内容については、当日資料2、1ページの「防災都市構造」について、各道路に対する延焼遮断帯の入り方に差があり、計画的に詰めていった際の整合が気になる。また、広域避難場所が足りているかどうか、この図面から読み取れない。

当日資料2、4ページの「みどり・環境と共存するまちづくり方針」で「水と緑のネットワークゾーン」とは何を示しているのか。

【事務局】 1点目の、「将来都市像」は第6次府中市総合計画の都市像に即している。内容について、文化という観点が弱いというところは精査させていただきたい。

2点目の「基本目標」については、ご指摘を踏まえて問題ないよう整理していきたい。

3点目の「まちづくりの主要課題」の部分については、課題ということが分かりやすいように整理させていただきたい。

4点目の「防災都市構造」の延焼遮断帯については、東京都防災都市づくり推進計画において延焼遮断帯として位置付けがあるものを示しており、小金井街道などは延焼遮断帯に位置付けていない。広域避難場所や土砂災害特別警戒区域などの情報などもプロットしていかなければならないため、修正させていただきたい。当日資料2、5ページの「安全・安心のまちづくり方針」においても同様に、次回までに補足したい。

最後に、「水と緑のネットワークゾーン」については、別部署で現在「府中市緑の基本計画」の改定を進めているが、その中で「水と緑のネットワークゾーン」の位置付けを予定しており、緑の拠点などを緑道や遊歩道などでつなぐものとして掲載している。

【委員】 資料2で「まちづくりの主要課題」が9つあるが、構成として受け先がない。資料3、1ページの「基本目標」は5つあって、その目標に対して4つの「都市構造」が示されており、矢印もあるのでここまでは何とか理解できる。その次に「テーマ別まちづくり方針」が5つ出てくるが、この方針が一体どこから出てきたのかが分からない。課題と目標と方針の関係が9、5、5という数になっていて、この因果関係がよく分からない。できれば1枚の資料に、これらの関係が分かるような図を作っていただきたい。

もう一つは、新たな社会潮流への対応ということが資料2の左側に書いてあるが、最近、最新技術を活用したまちづくりを手伝っている観点で、どうしても気になってしまう。ソサエティ5.0や、超スマート社会、スマートシティ、自動運転車両などは、10年前には議論していなかった。それが今回都市計画マスタープランの改定に当たって、例えば国が推奨するスマートシティという概念を府中市はどういうふうに受けようとしているのか、あるいはこのような課題に対して、都市計画マスタープランはどう対応しようとして

いるのかというのを明示した方がよい。

- 【部会長】 先ほどの意見と重なるが、資料3の「基本目標」とその後の「テーマ別まちづくり方針」というのは、重なっているようで、重なっていない不思議な位置付けになっている。防災についてみると、当日資料2、1ページと5ページに図面があるが、違いが分かりにくい。1ページ目の図面を充実させていくと、そのうち5ページ目と同じになってしまうのではないか。資料3、1ページの「まちの骨格構造（自然的構造）」についても内容を充実させていくと、資料2、4ページの「みどり・環境と共存するまちづくり方針」の図になりそうだ。「基本目標」と「テーマ別まちづくり方針」の関係が、今一つ分からないので、資料3の「まちづくりの構想」と資料4の「テーマ別まちづくり方針」に入れる内容をそれぞれ整理をしていただいた方がよい。
- 【委員】 資料3、1ページの「基本目標」の1から5は、今までこの部会では議論したことがないようだが、市の長期計画に即しているのか。
- 【事務局】 こちらを提示したのは今回が初めてとなる。前回の部会では、全体構想の一部だけを提示したので、今回の部会では、その前段も含めた整理をし、提示している。「基本目標」の1から4については、以前ご審議いただいた立地適正化計画を踏まえ、記載している。
- 【委員】 市の第6次総合計画との関係はまだ整理されていないということか。
- 【事務局】 「基本目標」は、今回のご意見などを踏まえながら、庁内で調整を進めていく運びとなっている。
- 【委員】 そうすると、「基本目標」と「将来都市構造」、「テーマ別まちづくり方針」の流れを少し整理した方がよい。後は立地適正化計画との関連をある程度見えるようにした方がよい。
- 【部会長】 後段の個別の細かいところは、いかがか。
当日資料2、2ページ目の「にぎわいと交流のあるまちづくり方針」は、この図から何がにぎわいと交流を表しているのかがよく分からない。無理して全部の方針に対応した方針図を作らなくてもよいのではないか。拠点の整備と、にぎわいと交流は、基本的には重なる話である。どちらか1枚図を作り、それで両方説明すれば十分というような気もする。図を作るなら、読み込まなくても分かるレベルのものがよい。
- 【委員】 資料4、2ページの「誰もが快適に移動できるまちづくり方針」について、「1）幹線道路ネットワークの充実」の一番上に「未整備の都市計画道路の整備推進」と書いてあるが、未整備の都市計画道路は最後まで作りきるという意味表示なのか。長期未着手の都市計画道路の見直しというのは特段考えていないということか。
- 【事務局】 当日資料2の3ページのオレンジ色で塗られているところが第四次事業化計画における優先整備路線となっている。本市においては、府3・4・12号線、府3・4・3号線などが指定されている。市境にまたがる現道がないその他の路線についても、今のところ見直しをする予定はない。まずは優先整備路線について、積極的に進めていきたいと考えている。
- 【委員】 都市計画道路の整備率は何割くらいか。

- 【事務局】 8割くらいである。
- 【委員】 長期間未着手の路線は都市計画道路から外すという議論もあるが、府中では特にないという理解でよいか。
- 【事務局】 府3・4・6号線が計画内容再検討路線として、位置付けられている。分倍河原駅周辺のまちづくりの中でこの路線をどうしていくかを検討している。それを受けて都市計画マスタープランに方向性を示していきたいと考えている。
- 【委員】 この間発表された「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針（案）」における計画変更の対象になった路線はあったのか。
- 【事務局】 対象となった路線はない。
- 【委員】 今後は都市計画マスタープランに沿ってまちづくりが行われていくわけだが、例えば、防災関係などはいつまでに出来上がるとか、時間的な目標があった方が分かりやすいと思う。
- 【部会長】 都市計画マスタープランの目標年次はあるのか。また、総合計画と合っているのか。
- 【事務局】 現在の都市計画マスタープランは平成40年度を目標とした計画となっているが、こちらについては立地適正化計画と整合させ、策定から20年後を想定したものに修正しようと考えている。
- 【部会長】 内容によっては、20年では実現できないものも多くある。
- 【委員】 テーマによって期限を分かりやすくした方がよいのではないか。
- 【委員】 先ほど委員がおっしゃったが、「まちづくりの主要課題」の部分が、その後の「テーマ別のまちづくり方針」とどうリンクしていくのかが分かりにくい。課題を各分野に落とし込んだり、もっと整理をして簡素化した方がよい。要するに課題が単独であるわけではないので、当然それはどうするべきというのは、方針に反映されてこないといけない。資料2から他へどうつながっていくのか、そこが読めないため、資料2だけが浮いているように感じる。
- 【事務局】 資料2の「現状と課題」から発生する「まちづくりの主要課題」が、資料3、1ページの「テーマ別まちづくり方針」につながる。1枚の資料の中で、それぞれの関係性を整理した方が分かりやすいと思うので、ご意見を踏まえて修正させていただきたい。
- 【委員】 課題で整理していることを後ろで受けきれていない感じがする。例えば資料2の一番左下に、「ストックを活かして新たな価値を創出するという発想へと転換」と記載しているが、後半の細かな方針では、そのような内容は読めない。
- 基本的に府中市では大きな問題はないはずだが、問題がない中でもこういうことが気になるというような語り方で、徹頭徹尾これが課題で、このように解決するというように記載すると、すごく伝わるようになると思う。一言で言うと、ちょっと課題を盛り込み過ぎなので、削る方向の方がよい。また、特に問題となる課題を明確にさせていただいた方がよいと思う。
- 【委員】 資料2の「まちづくりの主要課題」を追っていても追っかけきれない。もっと課題を削いで、分かりやすくした方がよい。
- 【部会長】 今日いろいろご意見いただいて、事務局で作業はしていただくが、次回いきなり修正していただいた骨子案を見るのも大変なので、作

業していただいた上で、個別に回って意見交換していただくのはどうか。

【事務局】 次回部会は10月下旬を予定しているが、9月末前後から、資料が整理でき次第個別に各委員を回らせていただきご意見を伺い、それを踏まえて10月の部会でご提示するという形で、進めさせていただきたい。

【部会長】 スケジュール表では、10月に1度部会を開催し、その後都市計画審議会に報告し、オープンハウスを開催する予定となっている。骨子案が固まるのは11月ぐらいか。

【事務局】 11月に骨子案がある程度が固まった段階で、市民の皆様へ向けたオープンハウスを12月頃に開催する予定である。

【部会長】 地域別構想については、どのように市民のご意見を伺っているか。

【事務局】 地域別構想については、当日資料1のスケジュールのとおり、まちづくりに関する意見交換会を開催している。これは各文化センター圏域コミュニティ協議会や農業委員会、商店街連合会、PTAの皆様にお集まりいただき、8地域に分かれてワークショップ形式で進めている。3回目の意見交換会では、現状の課題などを抽出し、第4回を9月上旬に予定しており、これまでの意見を踏まえて整理した骨子案をご提示したいと考えている。地域別構想はこのように地元の皆さまの意見を伺いながら整理し、全体構想に移行させるべきものは、全体構想に移行させていきたいと考えている。

【委員】 地域別の時に市民の方に聞いていただきたいことがある。防災に関することと、都市農地の土地利用転換が進み、今までと使われた方が違ってくることについて、市民感覚で聞いていただきたい。また、工場と住宅の混在に関して、どの辺で混在を解消し、どの工場に頑張ってもらいたいという辺りも、市民感覚を掴んでいただきたい。また、駅周辺に都市機能を集中させる話があるが、それと近隣型商業みたいなものの組み合わせが今の状態でよいのか、それともあまり位置付けのない是政などの駅前がもっと頑張った方がよいのかも把握していただいてフィードバックしていただけると、書き振りの判断ができると思う。

【部会長】 その点は意見交換会の時にお願いしたい。

いろいろとご意見をいただいたが、資料が熟していないというイメージがあるので、作業をしっかりとやっていただければと思う。しかし、何でも詰め込めばよいということではないというご意見もあり、分かりやすく引き算をした方がよいという評価なので、その点を踏まえて進めていただければと思います。

(2) 日程第2 その他

日程調整をした結果、次回改定検討部会の日程は、10月21日午前中で決定した。

以上